

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-509203 (P2005-509203A)  
【公表日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)  
【年通号数】公開・登録公報 2005-014  
【出願番号】特願 2002-580204 (P2002-580204)  
【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 17/60

【F I】

G 0 6 F 17/60 3 0 2 E

G 0 6 F 17/60 3 2 6

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 7 日 (2005.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツ受信部において第 1 のプログラムコードを実行し、前記コンテンツ受信部の興味のあるコンテンツを掲載したコンテンツプロバイダを識別するステップと、

前記コンテンツ受信部において第 2 のプログラムコードを実行し、前記掲載されたコンテンツの要求を自動的に開始するステップとを含む、コンテンツ受信部において行われる方法。

【請求項 2】

前記コンテンツ受信部を前記コンテンツプロバイダに知らせることなく前記方法が行われる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記コンテンツ受信部において第 3 のプログラムコードを実行し、前記第 2 のプログラムコードの実行に対して、前記コンテンツ受信部が受信した前記掲載されたコンテンツはないという通知を前記コンテンツ受信部に提供するステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記コンテンツ受信部において第 3 のプログラムコードを実行し、前記第 2 のプログラムコードの実行に対して、前記掲載されたコンテンツを前記コンテンツ受信部において受信するステップをさらに含んでおり、前記第 3 のプログラムコードを実行するステップが、セッションがアクティブである場合には該セッションの背後に前記掲載されたコンテンツが表示されるように前記第 3 のプログラムコードを実行するステップを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記コンテンツ受信部において第 4 のプログラムコードを実行し、前記第 2 および第 3 のプログラムコードの実行に対して、前記掲載されたコンテンツを前記コンテンツ受信部において受信したという通知を前記コンテンツ受信部に提供するステップをさらに含む請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記通知がアイコンである請求項 5 に記載の方法。

## 【請求項 7】

前記コンテンツ受信部において第 5 のプログラムコードを実行することにより、前記通知に関する操作時に、前記掲載されたコンテンツがユーザに見えるように前記セッションを貫通して前記掲載されたコンテンツが焼き付けられるステップをさらに含む請求項 5 に記載の方法。

## 【請求項 8】

前記コンテンツ受信部において第 5 のプログラムコードを実行することにより、前記通知に関する操作時に、前記掲載されたコンテンツがユーザに見えるように前記セッションの前面に前記掲載されたコンテンツが表示されるステップをさらに含む請求項 5 に記載の方法。

## 【請求項 9】

前記コンテンツ受信部において前記コンテンツプロバイダから前記第 2 のプログラムコードを電子的に受信するステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 10】

前記コンテンツ受信部において第 3 のプログラムコードを実行し、前記掲載されたコンテンツを前記コンテンツ受信部において受信するステップと、

前記コンテンツ受信部において第 4 のプログラムコードを実行し、前記掲載されたコンテンツを受信したことを前記コンテンツ受信部に通知する通知子を表示するステップとをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】コンテンツ受信部 ( r e c i p i e n t ) において行われる方法

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、コンテンツ提供者 ( p r o v i d e r : プロバイダともよばれる ) サイトに掲載されたソフトウェア・ノートへのコンテンツ受信者によるアクセスを可能にする装置に関する。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

図 5 および図 6 に示すように、通知子 82 は 2 つの部分をもつ。第 1 の部分 82 a は、一般的には図 3 に示したノート 22 のようなノートパッドを表す記号である。第 2 の部分 82 b は、一般的にはノート面を表示するパーソナルコンピュータを表す記号である。第 1 および / または第 2 の部分 82 a および / または 82 b は点滅するように構成して、ノートが受信されたもののコンテンツ受信者が未だ開いていないことを示すようにしてもよい。さらに、第 1 および / または第 2 の部分 82 a および / または 82 b はシステムトレイ内、システムツールバー内、またはアプリケーションバー内等の他の位置であってもよい。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 3 】

図 1 1 に示すように、第一者の役目をするコンテンツ提供者 1 5 0 によってノート 2 2 を新たに掲載することができる。コンテンツ受信者 1 5 2 は、プログラム 6 0 を用いてノートの取得などのノートに関するアクティビティを行うが、ここでコンテンツ受信者 1 5 2 は第二者である。コンテンツ提供者 1 5 0 によって掲載されるコンテンツは、コンテンツ供給者 1 5 4 によってコンテンツ提供者 1 5 0 に供給される。支払いは、コンテンツ提供者 1 5 0 によって受取人 1 5 6 に対して行われる。このモデルの例では、受取人 1 5 6 は、コンテンツ供給者 1 5 4 の債権者、財政的な後援者、または全プロセスの支援者である場合もあり、コンテンツ提供者 1 5 0 は受取人 1 5 6 への料金の支払いに同意している。料金は定額料金、あるいはコンテンツ受信者 1 5 2 がコンテンツにアクセスするか、購入するか、もしくは逆にそのコンテンツに基づいて価値のあるものを提供する毎に支払う料金等である場合もある。図 1 0 の場合と同様に、図 1 1 のビジネスモデルにおいて他の料金も支払われることもある。